施工説明書

INAX

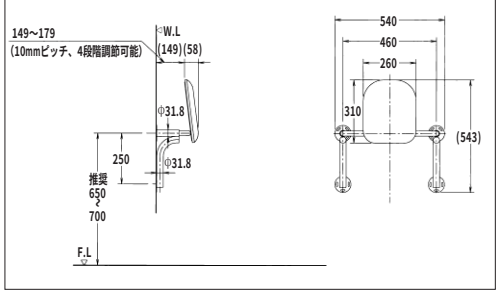
背もたれ・背もたれ付はね上げ手すり（壁付式）

KFC-270T1　KFC-270R
KFC-271T1　KFC-271R

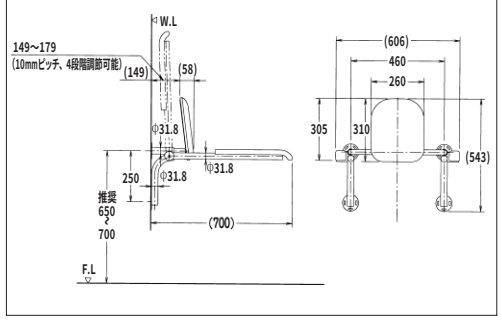
商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

●商品図

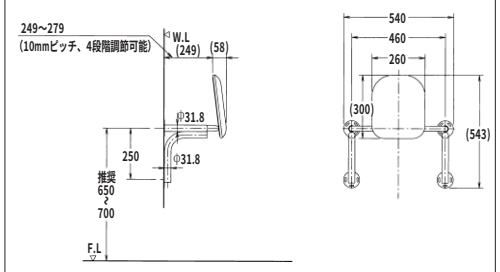
KFC-270T1（フラッシュバルブ用）



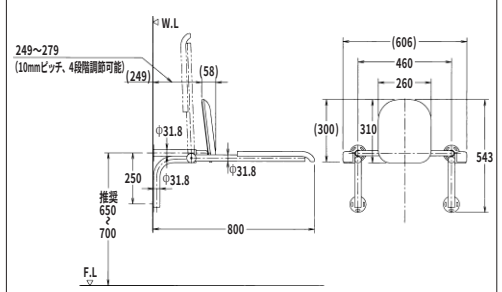
KFC-270R（フラッシュバルブ用）



KFC-271T1（ロータンク用）



KFC-271R（ロータンク用）

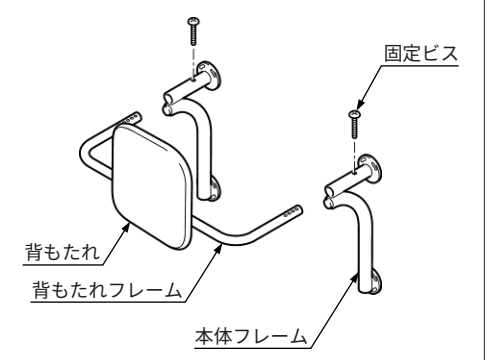


●取付高さに関する注意

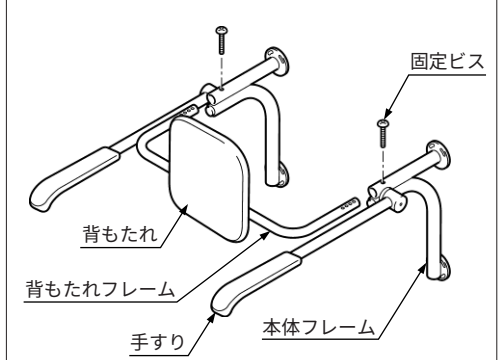
●シャワートイレ便座昇降装置「おしりフト」と背もたれ付はね上げ手すりとの組み合わせ時には取付高さを680㎜以上にしてください。
●身体障害者対応便座（座面高さ420㎜）とシャワートイレ便座昇降装置「おしりフト」の組み合わせに背もたれ付はね上げ手すりを付ける場合には取付高さを750㎜にしてください。
●大便器自動洗浄（赤外線感知形）の場合、センサ取付位置が通常とは異なりますのでご相談ください。

●各部の名称

背もたれ



背もたれ付はね上げ手すり



●固定金具（別売品）

固定方法	品　番	梱包内容	必要数量
アンカー固定（コンクリート造）（ブロック造）	A-3712（背もたれ用アンカーボルトセット）	×4　袋ナット ×4　ナット ×4　平ワッシャ ×4　アンカーボルト	3
はさみ込み固定（木造）	A-3713（背もたれ用はさみ込み固定セット）	はさみ込みプレート ×4 ×24　平ワッシャ ×12　スプリングワッシャ ×12　ナット ×12　ボルト	1
コーチねじ固定	KF-D16（コーチねじセット）	φ6　L=50　×4　コーチねじ ×4　平座金 ×4　バネ座金	3

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認してください。
●この施工説明書は、お客さまで保管頂くように依頼してください。

用語および記号の説明

注意……「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

……「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

⚠注　意

外れたり、ガタが生じないように、強固に取り付けてください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。	❗
取付面が薄壁の場合は、事前に厚み70㎜以上の補強木を設けておいてください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。	❗
取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、ＡＹボルトを使用してください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。	❗
必ず施工説明書の指示どおりに施工してください。 ※誤った施工方法をされた場合、器具が外れ、ケガをする場合があります。	❗
浴室など手すりに直接水がかかる場所への取り付けはしないでください。 ※取付壁の裏側に浸水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	🚫
取付壁に突起や不陸がないことを確認してから施工してください。 ※壁に突起や不陸があると、手すりの操作荷重が重くなったり、取付後のガタが発生する恐れがあります。	❗
固いものをぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。 ※商品が破損して、ケガをする恐れがあります。	❗

●施工前のご注意

●取付前に、取付壁に突起や不陸がないことを確認してください。
　※壁に不陸がある場合、ワッシャーやスペーサーを用いてフラット面を確認してください。
●油などの汚れが付着した手で手すりを握らないでください。
　※汚れがとれなくなる恐れがあります。
●便器等付属の施工説明書をあらかじめ準備してください。

〔湿式壁の場合〕

●取付部材として別売のA-3712・3セットを使用してください。
●下材はコンクリートとし、取付部の奥行は70㎜以上（コンクリートの厚さは50㎜以上）を確保してください。
●壁仕上材（モルタル、モルタル＋タイル等）の厚さは20㎜以下としてください。
●ALC材、コンクリートブロックの中空部、軽量鉄骨下地には取り付けできません。
●木ずり下地、ラスボード下地への取付けはできません。あらかじめ下地をはがしていただき、取付木（補強木）をいれ、必要なねじ込み深さを確保してください。
●屋外や浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しないでください。

〔乾式壁の場合〕

●取付部材として別売のA-3713を使用してください。
●ねじ込み深さが70㎜以上になるように取付木(補強木)を設けてください。
　※取付木（補強木）は柱または間柱に固定してください。

株式会社 INAX

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センター　商品相談窓口
ナビダイヤル TEL 0570-017173

受付時間　平日　9:00～19:00
土日・祝日 10:00～18:00
（年末年始、夏期休暇は除く）

※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などからはご利用できません。
TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

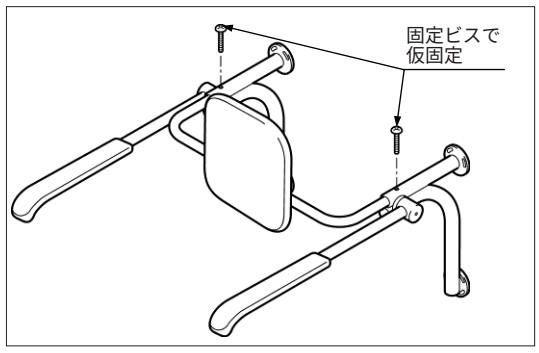
●施工方法

1 背もたれの仮組み

本体フレーム（左）（右）に背もたれフレームを差し込み、固定ビスにて仮固定します。

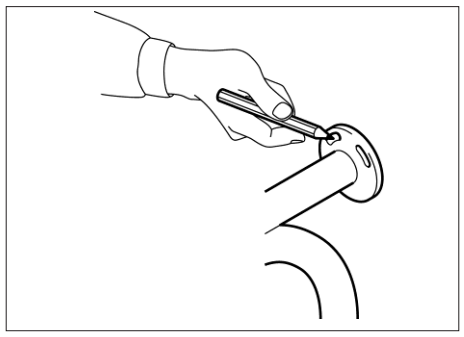
⚠注　意

必ず固定ビスで仮固定してからアンカー位置やボルト位置を位置決め（マーキング）してください。
※仮固定をせずに位置決め（マーキング）すると、最後に固定ビスが入らなくなる恐れがあります。



〔アンカーボルトの場合〕

2 アンカーボルトの打ち込み



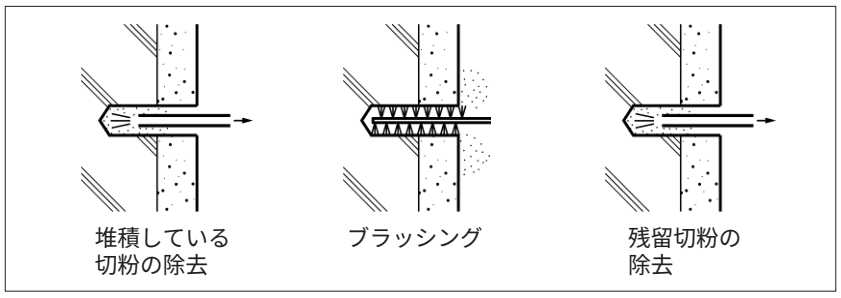
(1)アンカーの位置決め（マーキング）をします。
※位置決めは現物合わせにて行ってください。
※本体フレームと背もたれの水平・垂直を確認してください。

(2)背もたれを取り、マーキング位置に下穴を開けてください。

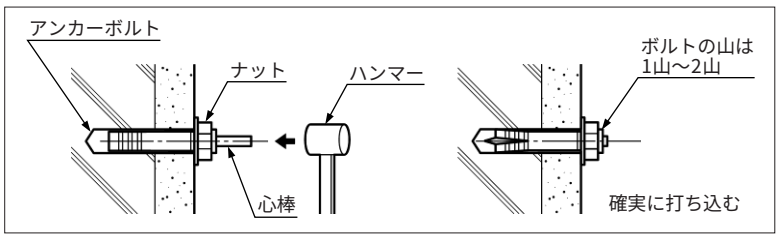
⚠注　意

ドリル径は6.5㎜を使用し、下穴は65㎜以上確保し取付けを行ってください。
※異なる条件で取付けをされた場合、器具が落下しケガをする恐れがあります。

(3)アンカーボルト挿入前に、ブロアー等を用い、切粉を完全に除去します。



(4)ナットを付けた状態で、アンカーボルトの心棒をハンマーで確実に打ち込みます。



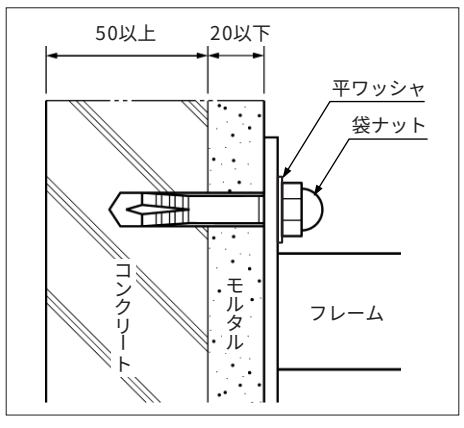
⚠注　意

打ち込み時にはボルト頭が1〜2山出たことを確認してください。
※それ以上出ている状態で器具取付けを行うと、十分な締め付けが出来ず、器具が落下し、ケガをする恐れがあります。

(5)ナットを取りはずします。

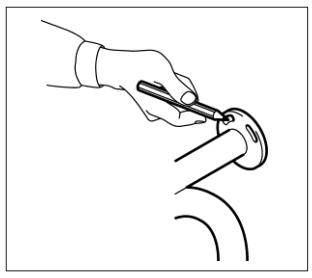
3 本体の固定

(1)本体をアンカー付属の袋ナットに変更し、仮固定します。
(2)本体が水平・垂直であることを確認し、袋ナットにて固定します。



〔はさみ込み固定の場合〕

2 固定用ボルトの穴開け



(1)ボルトの位置決め（マーキング）をします。
※位置決めは現物合わせにて行ってください。
※本体フレームと背もたれの水平・垂直を確認してください。

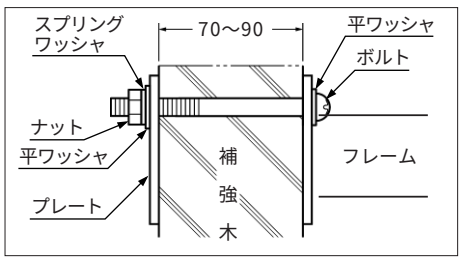
(2)背もたれを取り、マーキング位置に通し穴を開けてください。

⚠注　意

ドリル径は4.0㎜を使用してください。
※異なる条件で取付けをされた場合、器具が落下し、ケガをする恐れがあります。

3 本体の固定

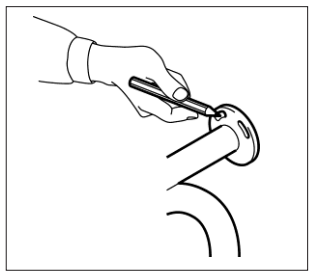
(1)裏側にプレートを当て、ボルト、ナット、平ワッシャにてはさみ込んで仮締めしてください。
(2)背もたれの水平、垂直を合わせ固定します。



〔コーチねじで固定する場合〕

2 下穴の穴開け

施工部材（製品1台当たり）	現場調達部材
・KF-D16　3セット	（なし）



(1)ボルトの位置決め（マーキング）をします。
※位置決めは現物合わせにて行ってください。
※本体フレームと背もたれの水平・垂直を確認してください。

(2)背もたれを取り、マーキング位置に通し穴を開けてください。

⚠注　意

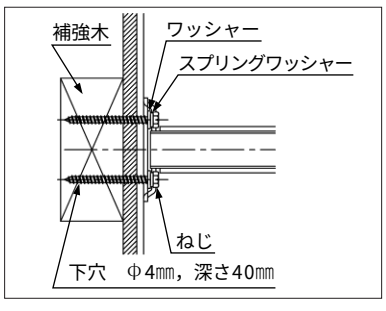
ドリル径はφ4.0㎜を使用してください。
※異なる条件で取付けをされた場合、器具が落下し、ケガをする恐れがあります。

3 本体の固定

※仕上げがタイルの場合は、タイル部のみφ6.5㎜の下穴をあけてください。

コーチねじにワッシャーを通し、フランジの取付穴より手すりを固定してください。

※補強木は厚みを70mm以上とし、柱または間柱に固定してください。

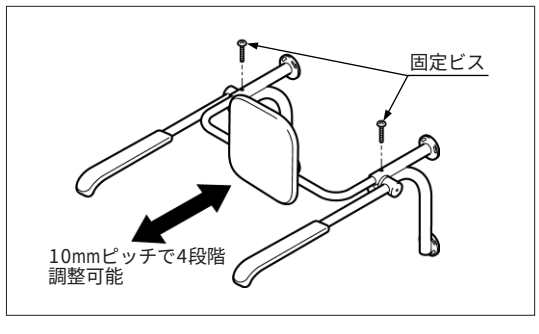


4 背もたれの固定（共通）

・最後に背もたれを組み付け、固定ビスでしっかり固定してください。
・背もたれは10mmピッチで4段階調整可能です。

⚠注　意

木造の場合、補強木は70mm以上とし、必ず間柱に固定してください。
※補強木の上にスレートなどの処理がしてありますと、スレート等が壊れ事故の原因になります。必ず直接補強木に取り付けてください。



●施工後の作動確認

●施工後、取付方向が正しいか及びスムーズに動作するかについて確認してください。

※施工用アンカーボルトやボルト、コーチねじの頭をカバーする必要がある場合は、別売品「ブラケットカバー」をご用意しています。
補給部品情報で内容をご確認ください。品番：A-5572